



デモカーはメーカー車。
-50mグランで前進をセットアップ。
ホールはA/X-X777m(F=19x
8.0+45.R=19x8.0+40)で、これ
にル・マンLM709(F=R:225/
3919R)をマッチングさせている。
普通なら純正状態と比較して走り
心地の悪化が懸念されるものが、
実際には走らせてみるとこれが驚く
ほどコンフォートな车だ。

TUNING PICK UP FILE

しなやかなフットワークをモノにする
◎ティエムシー トップブランドのこだわり



理屈のフットワークメイクとは、一体どういったモノだろ？ 踏ん張り等？ 安定性？ それともコンフォートを乗り心地？ その好みや感覚はまさに十人十色だが、ここに紹介するベストト-は、多くのユーザーが求める最大公約数のバランスをカバーしたという逸品だ。

特殊な形状を採用した大型
リバーブヘッドで、音響効果
一層高に追求される。形状は
アーチ型で、内径φ30mm、
外径φ40mm、高さφ40mm
である。音頭部分に複数の
凹凸があり、音響効果を
さらに高めている。

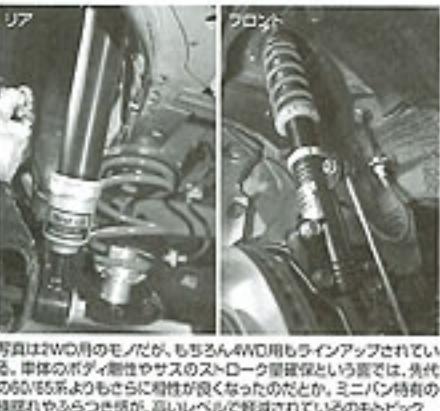


ITEM DATA

ITEM DATA	販売価格
■ベストセラーリミット	¥183,750

に225／35のタイヤを組み合わせると

キットには3種類のヘッドレススプリング「T12000」がある。オーダー時に好みに合わせてソフト(F=0.4kg/mm、R=5.3kg/mm)、アイム(F=5.0kg/mm、R=6.0kg/mm)、ハード(F=6.0kg/mm、R=8.0kg/mm)の3種類のスレートから選ぶことができるもう少しポイント



写真は2WDのモノだが、もちろん4WD用もラインアップされている。車体のボディ剛性やサスのストローク確保という面では、先代の60/65系よりもさらに剛性が良くなっているのだが、ミニバン特有の運転操作感覚を改善するため、車体剛性を高めながらも車内静粛性を保つ工夫がなされている。

でも、どうもほんとうに楽しむ味付けなのだ。しかも、この説を聞いても、コントラクト性がしっかりと確保されているのは、「さすが!」というしかない。

それから少ししたマハタクはでもあかだつたもん
へん。やうやう、純正の義理、心地に惚れこ
ぼれかわいべした感じといふのはいいだらけ。
ついでて今度は震震力を一番ハーモニ
詮説しておる。つまよ時に比べるとロード
ナリハグの安定感は確実に増した感じで
拳銃もスマーズ。少し握り込めばタイヤ
が軽くもぐるハンドルトイな握りも難なく

いう、乗り心地のチェックにおいては明らかに不利なセッタアップだったが、それにも関わらず、なおロンフォートを抜群していたことに驚かされた。…ちよつとしたギャップも軽いこんな感じで、不快な突き上げ感はゼロ。それでいて姿勢は十分にキープされている（ひどく）。

いスプリングが
される。オーバー
みに合わせて
kg/mm, R:5.5
イアム(F:5.5
/mm), ハート
R:3.0kg/mm
ネートから
るのもう少し

12,000Jも出
アーナー的には好
ソフト(F:4.0
g/mm),ミディ
アム(4.5g/mm, 6.1kg
F:6.0kg/mm,
の3種類のバ
ルが選ぶことができ
るポイント

ノンだが、もちろん剛性やサスのスムーズさは、どちらに相性が良さそう。

4WD用もラインアップされている。トヨタの4WD車は、ドライブシャフトを駆動輪に直接接続する「ドリフト式」が主流だ。トヨタの特徴的な構造で、駆動輪の回転数を常に車速に合わせて調整する。しかし、ドリフト式は、駆動輪の回転数を車速に合わせるため、車速が一定以上になると、駆動輪の回転数が車速より大きくなる。このため、車速が一定以上になると、駆動輪の回転数が車速より大きくなる。このため、車速が一定以上になると、駆動輪の回転数が車速より大きくなる。